



あお やま のり たけ
青山 昇 武

こう めい どう ぎ いん だん
公明党議員団

感震ブレーカーの普及啓発の取り組みは

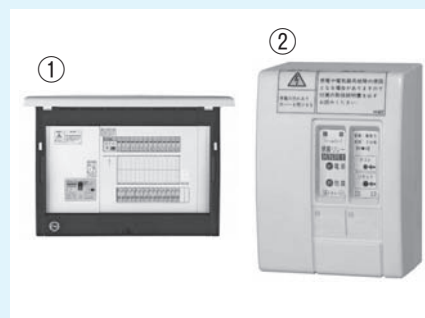
問 阪神・淡路大震災でも出火原因の多くが通電火災と言われている。地震で断裂した電気コードや倒れた電気ストーブが電気の復旧時に発熱し、多くの火災を起こした。こうした通電火災を防ぐのが感震ブレーカーである。津市民の生命財産を守っていくためにも感震ブレーカーの普及促進が重要であるが、啓発はもちろんのこと普及のための補助金制度実施の考えは。

答 感震ブレーカーとは、地震発生時に設定した値以上の揺れを感知した場合、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に停止させる器具であるが、大規模災害発生時における同時多発火災の危険性と、近年の地震火災の主たる要因が電気によるものであることを市民に周知、理解していただくことが重要であると考えている。

これらを周知、理解いただいた上で、感震ブレーカーの普及啓発につなげていきたいと考えており、消防本部をはじめ、関係部局と連携し、広報津や市HPでの啓発、地域での防災学習会、防災訓練等の様々な機会を捉えて、普及促進を図るとともに、普及の状況を把握しながら、民間団体等の協力も得て、設置支援等を検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 情報伝達に必要な「緊急告知ラジオ」の貸与状況と今後の普及啓発は
- 津名産品の普及促進について
- 学校給食施設共同化配送の取り組みについて
- ドローンの講習会の状況と今後の活用について
- 市施設のAED設置および点検状況について など



▲①感震機能付き分電盤
②外付けできる増設タイプ



よし だ ひろ やす
吉田 博 康

けん と
県都クラブ

防犯カメラの適正な設置・運用基準の制定を

問 今年度、防犯カメラパイロット事業がスタートし、津市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進委員会が設置され、市民の皆さんの関心も高い状況である。

防犯カメラの設置について、設置後のメンテナンスの方法や管理運用状況の定期的な報告義務等の基準を、行政として、制定することが重要と考えるがどうか。

答 5月31日までを期限として、防犯カメラの設置希望団体を募集し、その中から選定した団体により、今後、試行運用を行う予定である。

その後、試行運用により得られたさまざまな課題や問題点等を集約し、検証しながら、津市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進委員会において協議していく予定である。

防犯カメラを効果的に活用するためにも、設置についてだけでなく、設置後の維持管理や運用状況の報告義務を含めた基準の策定に取り組んでいく。



●その他の質疑・質問●

- 自治体ポイント活用について
- シルバーエミカの現状は
- めいぶつチョイスの内容は
- 小中学校教育におけるデジタル教科書の導入活用について
- 現在の取り組みと、さらなる活用に向けた取り組みは
- 幼保連携型認定こども園の職員配置の考え方は
- 避難所運営マニュアルの策定状況は など



▲小中学校での授業における「デジタル教科書」の活用